

KUYC LETTERZINE



京都大学体育会ヨット部 活動報告

□インカレ個人戦予選 □部員リレーインタビュー □琵琶湖選手権 □七大戦 □今日のマネ飯 2018.8.1

[Vol.008]



個選本選出場を決めた小塩・長塚、松島・江澤、梶村・関ベア

インカレ個人戦予選

6月23、24日に近畿北陸の個人戦予選が行われました。この個人戦予選は5月6月と続いたレースシーズン最後の大会であり、8月末に行われるインカレ個人戦本戦の予選レースということで、各部員にとってこれまでの練習の成果を試すいい機会となったのではないのでしょうか。

さて、1日目は1日を通して風が弱く、1レースを短いコースで行ったのちハーバーバックとなりました。琵琶湖で風が吹かないのはいつものことですが、4回生にとってはこれが最後の個人戦予選。艇庫もいつもとは違う緊張感があったように思います。2日目も変わらず微風でしたが、この日は470が4レース、スナイプが3レースをこなすことができました。各レースでマネージャーが暫定の得点を計算し、それを元に監督、コーチからの確かなアドバイスをいただき、改めてレースのサポートの大切さを感じさせられました。470が5レース、スナイプが4レースと少ないレース数で風も不安定であり、順位を安定させることが難しいレガッタとなりましたが、最後に京大の470艇が審問に勝ったこともあり、京大からは470級2艇、スナイプ級1艇が予選を通過し、本戦への出場権を獲得することができました。

これから、厳しい夏の合宿に入りますが、個人戦本戦、団体戦予選に向けて全力で練習に励んでまいります。

最後になりましたが、お忙しい中運営に携わっていただいたOBの方々、支援艇に乗っていただいた監督、コーチの皆さまに心より御礼申し上げます。

部員リレーインタビュー member relay interview

008

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。
今回は4回生マネージャーリーダー矢後真由菜、3回生スナイプクルー長浜拓哉へのインタビューです。



マネージャーリーダー

矢後 真由菜

1996年富山生まれ。
富山中部高校出身。
京都女子大学家政学部
食物栄養学科。なぜか
下級生プレーヤーに敬
語で話しかけてくるこ
とが多い。

Q. これまでの部活生
活を振り返って

A. ヨット部生活を通し
て、うれしい楽しいお
もしろい、悔しい辛い
怖い、一通りの感情を
経験することができま
した。負の感情でさえ
も自分自身の糧となり、
成長につながったと思
えるような、本当に特
別な3年と数カ月です。
また、昔は「やごま
ゆ」「やごちゃん」
「やごっち」と親しみ
のこもったあだ名で呼
ばれていたのに、いつ
からか「やご」と言い
放たれるのが普通にな
りました。別に気にし
てなんかいません。

Q. KUYC マネとして 誇
れること

A. レスキュー力、マネ
飯、SNS力といったこ
とを述べるべきなので
しょう。質問の趣旨か
らそれるかもしれませ
ん。この質問に対して
最初に思い浮かんだの
は、kuyc マネ一人ひと
りが私の自慢だな、と
いう思いです。私に無
いものを備え支えてく
れる同期、成長する姿
が何よりも嬉しいと思
える心強い後輩たちで
す。そしてこのような
精鋭達が揃い急成長を
遂げたこの代で、マ
ネージャーリーダーと
いう役職を務めること
ができたのも私の誇り
であり、私の自慢です。

Q. 団選予選にむけて

A. 5,6月のレースシーズンを経て、サポート体制を
より良いものにすることができたと思います。支
援艇でのホワイトボードの活用法、予備備品の管
理・確認の徹底、丘でのPCを用いた得点計算、鍋
で作ったお茶を凍らせて積む新技の誕生など、マ
ネージャー一同試行錯誤し、反省を重ねレベル
アップできました。プレイヤーもマネージャーも、
全員が万全の状態で戦えるように、予選までの練
習を大切にしていきたいです。



紫電のドライブテクニックは部内随一の上手さ。



スナイプ クルー

長浜 拓哉

1997年京都生まれ。
西大和学園高校出身。
法学部。次期主将候補。
きゅーびーという愛称
で親しまれており、
「あだ名は長浜拓哉で
す」という自己紹介ネ
タを持っている。オラ
オラした見た目にそぐ
わず小さい子供が好き
という側面を持つ

Q. 沖でのアピールポ
イントは？

A. やはり毎日変わる
セーリングキャップで
すね。流したものの、譲
渡したものを含めると、
のべ12個も使用して
いました。周りからは
持ち過ぎと批判されま
すが、実は出艇前にそ
の日の天候と風域から
判断して、コンディ
ションにピッタリと合
うキャップを選ぶとい
う半ヲタっぽいことを
しているのです。セー
リングをするにあたっ
て十人十色のモチベー
ションがあると思いま
すが僕はキャップ収集
がその一つです。今日
も元気に珍しいキャッ
プを探す旅に出ます！

Q. 83代のいいところ
教えてください

A. ずばり、ヨット部
をさらにシステム
ティックにしたこと
です。役職で部署分
けを行い、部員を縦
割り化、動画の共有
ハブ化、各運営をマ
ニュアル化など... 圧
倒的に人数が増えて
統制が難しくなる中
でようやく部として
の輪郭が現れ、“組
織”になってきた気が
します。それでもっ
て従来のアットホー
ム感を失わず1~4
回生まで仲良く切磋
琢磨して全国入賞を
目指せる環境になっ
てきたのはかなり誇
れるものだと思います。

Q. 残り少なくなった83代京大ヨット部で成し遂
げたいことは何ですか？

A. 僕自身、今年のレースシーズンでは思うよう
な結果を残せず、団体戦でレギュラーになるこ
とは厳しそうですが、夏の練習でまだまだ先輩
たちに食らいつき、本番レースではへばったク
ルーと交代しても遜色ない、代打の切り札的な
クルーになりたいです。また、次年度主将を任
されている身でもありますので、83代ができ
なかったこと、やろうとして失敗したことなど
をまとめ、来年の部構想を練るとともに後輩か
ら信頼されるような人間形成を続けていけたら
なと思っている次第です。



4回生スキッパーの小塩とクローズ帆走。
新旧主将が見つめる先には上マークとインカレ総合入賞。

琵琶湖選手権～470編～

琵琶湖選手権では二日間を通してアンダーパワーの風で軽風レガッタとなり、470級第二レースでは途中風がなくなり、十艇ほどしかフィニッシュできないレースもありました。しかしそのレースでも、京大の上位艇はしっかりフィニッシュすることができており、この風域ではチーム全体として地力がついているように思いました。また全日本選手権の予選も兼ねたこの大会で、京大の470級からは梶村・関、松島・江澤、中川・八代の3ペアが8月末に江ノ島で行われる本選への出場権を獲得しました。本選でも日ごろの成果が出せるよう頑張りますので応援のほどよろしくお願いします。



3位に入賞した笑顔の松島・江澤ペア。

琵琶湖選手権～Snipe編～

6月2日、3日に琵琶湖セーリングチャンピオンシップが行われました。今大会は8月末の全日本選手権の予選を兼ねており、出場枠の5枠に入るべく、各艇気合いを入れて臨みました。初日は長い風待ちのあと、不安定な南風の軽風で1レースが行われました。2日目は比較的安定した北風の軽風の中で4レース行われました。社会人艇が安定して上位を走る中、学生は順位をまとめるのに苦戦したレガッタでした。結果としては、中川・青木ペアが5位(学生2位)、村山・加藤ペアが7位(学生4位)と好成績を収めることができました。また、京大スナイプチームは学生の中で唯一、上位3艇がシングルに入るレースを2レースつくることができ、団体戦へ向けて確実にチームの実力がついていることを実感することができました。最後になりましたが、全日本選手権が8月20日から26日にかけて福岡県小戸ヨットハーバーで開催されます。出場権を獲得した中川・青木ペアが参加いたしますので、ご声援よろしくお願いいたします。



本戦出場を決めた中川・青木ペア。活躍が期待される4年生ペア。

七大戦@北海道祝津ヨットハーバー

こんにちは。スナイプクルー三回生の長塚です。今大会は、北海道の小樽の祝津マリーナで行われました。毎年恒例のレセプションでは他大学の部員と交流でき、良い刺激をもらえた部員が多かったように思います。レースは、1日目は雷と強雨のため、2日目は濃霧と無風のためノーレースとなり、1レースも消化できずに終わってしまいました。沖での風待ちの間の他大学との帆走や動作では、京大の船の方が良いパフォーマンスをしており、レースはしなかったものの、技術的には好感触でした。目標の完全優勝が叶わなかった悔しさを、来年福岡で果たしたいと思います。



ハーバー横で記念写真。来年は優勝を目指します。

今日のマネ飯 today's dinner

部員たちの体調を支える毎日の食事。その中の一つを紹介します。

～夏バテ解消！ 夏野菜ドライカレー～

猛暑が続く中、夏バテを少しでも和らげるため、日々献立には工夫を凝らしております。「夏バテ解消！夏野菜ドライカレー」は、茄子やアスパラガスといった夏野菜を中心に取り入れました。これからは健康面に気を使った「元気の出る」料理を提供していきたいと思います。



3回生
マネージャー
南 加寿

京都大学体育会ヨット部

滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312

[hp] <https://www.kuyc-home.com/>

[mail] kuyc.2013@gmail.com

 <https://twitter.com/kuyc>

 https://www.facebook.com/kyoto_sailing/?fref=ts

 https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja